

2016 連合奈良地域フォーラム・推薦議員懇談会報告

日時：2016年5月21日（土）地域フォーラム 14:00～17:00

推薦議員懇談会 17:30～19:00

場所：奈良春日野国際フォーラム 薨～I・RA・KA～

参加：構成組織組合員・行政関係・民進党・社民党・無所属 推薦議員団 約150名

5月21日（土）14時～奈良春日野国際フォーラム 薨において、「働き方やワーク・ライフ・バランス」をテーマとした連合奈良地域フォーラムを開催し、連合本部の逢見事務局長、荒井奈良県知事からそれぞれご講演頂いた。また来賓の奈良労働局の栗山雇用環境 均等室長・前川参議院議員らが挨拶された。



主催者挨拶：連合奈良 小山会長

本フォーラムには、組合員をはじめ奈良県、経営者協会、推薦議員など約150名が参加した。

主催者挨拶で、連合奈良小山会長は、「人間は仕事を通して自尊心が生まれ自尊心を持つ人が増えるほど社会が健全化するとされています。

つまり、働くことをしっかり整備することが『人間・社会』に大切だと言うことです。そう言う意味からも連合は『働くことを軸とする安心社会の実現』を目標としています。今連合奈良は、県、労働局と様々な会議を重ね、働き方改善に向け意識を共有化しています。今後、全国的に生産人口が激減する中、奈良県において、いかに生産性を向上させるかが大切なテーマとなってきます。昨年制定された「奈良県地方創生総合戦略」では奈良県内で働く人を1万人増やそうという目標を立てています。しかし現実、長時間労働、通勤時間が長いという課題はありますが、働き方改善に向け、県が先頭に立って取り組む体制が出来てきています。本年の春闘を振り返ると、賃上げ以外に労働協約などの改定の年であったことから、働き方改善の労使会議とか委員会を設置した組合が多数ありました。年休各種休暇を使って育児や介護に活用しやすい方向で議論され、派遣・請負の現状を労使でしっかり確認し、社員と同等な労働条件に持っていく回答もありました。また、今年の4月から施行された「女性活躍推進法」は労働組合あるところは労使できちんと、チェックする体制が整えられましたが、労働組合の無い事業所にも広める活動を労働局と連携していきたい。『働いて良し』『住んで良し』の奈良県を内外にしっかりとアピールすれば、若者雇用の拡大、女性活躍の場も拡大し、活性化すると考えます」と挨拶された。また、基調講演で連合本部の逢見事務局長は、一向に改善しない年次有給休暇の取得状況や長時間労働について触れ、「国の政策も企業の努力も必要だ」と指摘され、連合の各労働組合の時短への取り組みを紹介された。記念講演では、奈良県の女性就業率の低さ、長時間通勤、県外就業率の高さの特徴を説明し、労使で雇用労働者の生活状況や要望などを分析してワーク・ライフ・バランスを実現させる重要性を訴えた。最後に「連合奈良と一緒に「働き方改善」について検討し、ワーク・ライフ・バランスの実現に取り組みたい」と話した。



来賓挨拶：奈良労働局
栗山雇用環境 均等室長



基調講演：連合本部 逢見事務局長



記念講演：荒井奈良県知事



参加者